



# 9月教材映画



フィルム名 ゆうびん(二〇分)

適用学年 小二年 社会

単元 元 ゆうびん

内容

山村の学校から東京へ転校した児童の手紙が端緒となり、山村の子供から植物標本を送り、それに対する東京の子たちからの返事。さらにそれにこたえて山の子たちの作文集、山の生活、えと文、とゆうびんを通してお互の愛情が深まって行く様子が前半に描かれている。

山の子の作文集に対するお礼として顕微鏡が送られるが、顕微鏡の送られる順序を通して郵便局の機構と正確迅速に送られるための施設やそこに働く人々の様子が示される。

使用法

この単元は、映画を中心として展開されている。従って一単元の中で郵便と私達の生活の部分で二回、郵便の送り届けられる部分で一回、協力競争を考える場合に一回の計四回使用さ

れるようになっていく。

これは毎回二巻全部を映写するのでなく、小単元の目標に応じて、必要部分のみを使用するように考えられている。細部については社会科カリキュラム三一年度試案を参照されたい。

フィルム名 魚のとれるまで(二〇分)

適用学年 五年

単元 元 日本の水産業

内容

○暖流魚と寒流魚  
○魚獲方法——底引網とはえなわ  
○魚獲物の整理と貯蔵——冷凍  
○陸地との連絡——無電  
○魚場の発見  
○帰港——魚獲物を列重へ  
○貨車——魚市場——荷車を引く魚屋

使用法

単元、日本の水産業の現状と、その自然的条件について調べ、話し合うに使用し、特に水産業の現状をリアルに把握し、水産業に対する興味と研究心を喚起し、単元展開の導入とする。

## 実践記録

岩瀬光義

単元 うみべといきもの(二年)

一潮のみちびきはどんなことでしょうか。

二海岸の風はどちらからふくでしょうか。

三海岸の砂はどうしてできたのでしょうか。

四海岸のようすはどんなになっているのでしょうか。

五海の浅い所や深い所にはどんな生きものが見られるでしょうか。

六海岸の草や木はこのあたりの草や木とどのようにちがうでしょうか。

七海水浴の計画を立てよう。

教材として使用したフィルムは「潮干狩」「海辺の動物」

・潮干狩……学習問題(一)

・海辺の動物……(五)

映写前の指導——本時は次の学習への発展でなく、この時間に見せ学習し、処理することなので、目標を理解させるため、映写前に次の三点を話し、注意して見るようにする。

第一に海水が引いた海辺にはどんなものが見られるか。第二に波打ちわの動物のようす。第三に水中の小動物をよく見る。

映写後の反応——現在迄の児童の生活経験では、どの目を見て、単純に目と呼び興味はうすかったが、この映画を見て色色な名称や、生態を知り、観察に対して興味を持つ看が増えて来た。普通、余りみられないそれらの様子を見て、児童は単純な遊びの中で知っている程度の観察なので驚異の眼をみはっていた。

夏休み前のことでもあり、海へ行ったら「探してみよう」とか、「よくみてこよう」など観察への興味が増えた。

教材映画を使った場合の語問題  
映画を使って学習をして、色色と感じたことをべてみたい。これは学年環境、設備により異なってくると思われる。

1. 準備のこと  
陪幕、映写機が簡便に取扱える設備が第一である。熱意があっても能率の面で学習犠牲にしては長続きがしないと共に広く利用され難い。

2. 映写後  
明るい部屋で学習をし、その途中で暗室にした場合注意力は増すが、映写が済んでからの学習にうまく移行でき

単元 元 日本の水産業  
 適用学年 五年

内 容  
 魚村のくらしは、朝の三時頃から起きて働きはじめ。近年陸に近い所ではだんだん魚がとれなくなり、老人の仕事になった。

若い働き手は、みんな沖合漁業に行き小さな漁村にはいなくなつた。沖合漁業の巷は施設もよく組合もある。

組合は、漁獲物を売りさばき経費を差引いて船主に渡す。船主はその金を五日目ごとに計算して漁師に分配する。漁師たちはその分配金で生活をたてる。魚に出られない日もあって、その生活は苦しいので、主婦達は日雇、てん草とりをしてお金をもうける。

使用法

小單元「漁村の人々のくらしの様子についてしらべ、話し合う」に使用し、とくに船主や網元と漁師との関係や漁業協同組合のはたらきについてしらべ話し合う場合の教材とする。

フィルム名 月(一〇分)

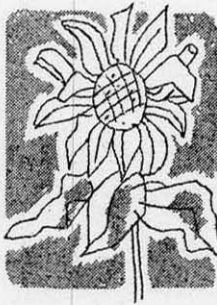
適用学年 二年

単元 元 月の形しらべ  
 内 容

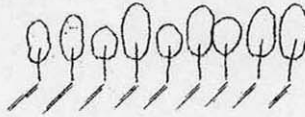
- 肉眼と望遠鏡による月のすがた
- 月の引力による潮の満ち干
- 月の満ち欠け
- 月による星の掩蔽
- 月の運行と月食及日食

使用法

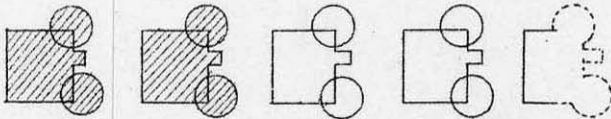
月の満ち欠、同じ時刻に同じ場所に見えないことなどは、ばく然と知っているが、この映画によって、明確にしさらに、その後の観察への興味を湧かせると共に、注意深い観察態度を喚起する。



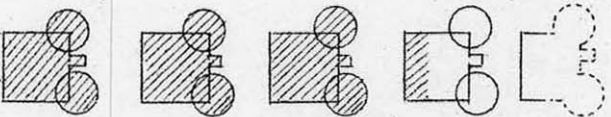
## 映写機はこんなに ふえた



○ 合併当時 44.44%



○ 現在 68.89%



(単位 10台)

※ 現在、児童・生徒 1,056名に対して 1台の割合にまでなっている。

にくい点がある。スクリーンを特殊なものにして室内の明度を開放の場合の半分にし、ノートに筆記ができる程度にした方が結果がよい。

気温の高い上に密閉した時の児童の疲労の点を考慮し、簡単な体操を、座姿勢で実施することもよい。

児童は映画をみて一応の理解はするが、自己の行動によって反応あるものが教材として望ましいことを考え、

境の中にこれらを用意することか学習意欲を旺盛にし、且理解を深めるものであることを忘れてはならない。

一般にいつてこれら教材用のフィルムは組織的に構成が考えられ、機能、生誕がよく記録され、時間的にも労作的にも簡単に観察できぬ色々な面が多数の者と同じような条件の下に考察できる点で、すぐれた教材物と思つた次第である。

昭和三十一年度役員及び運営委員一覽

役員

会長	甲山中学校	佐藤 玄彦
副会長	梅園小学校長	太田 市郎
全	同教組々会長	小笠原健治
書記	教務指導主事	原田 市郎
會計	連尺小学校長	稲葉 浅吉
會計	連尺小学校長	佐野与一郎
監査	東海中学校	伊藤 安吉
全	男川小学校教頭	柴田 元良
常任理事	教養学校教育課長	深津時次郎
全	竜海中学校長	高橋緑太郎
全	美川中学校	内田 克治
全	福岡小学校長	杉浦 時秋
理事	各学校長	

運営委員

校名	委員	部別
梅園	大田 憲吾	教材
根石	阿部 俊房	調査
男川	鈴木 猛男	教材
美合	照 律翁	技術
羽根	田中 稔	教材
岡崎	稲垣 豊	調査
六名	渡辺 尚三	教材
三島	宮本 喜久雄	教材

校名	委員名	部別
連尺	山田 利一	調査
広幡	堀部 信雄	教材
井田	岩 光義	技術
愛宕	川 久男	調査
福岡	小野 利郎	調査
竜谷	安 貴雄	教材
山中	山本 正義	調査
山中	中 平八郎	教材
本宿	神谷 洋右	教材
生平	蜂 須 久	教材
紫梨	満 野 実	教材
常盤	太 田 昭	教材
常盤	内 藤 繁雄	技術
常盤	大 塚 惣十	技術
常盤	近 藤 卓	教材
常盤	高 橋 岩雄	教材
細川	磯 谷 昭男	技術
岩津	鈴木 昭典	調査
本宿	宮 嶋 三	教材
本宿	山 田 宏	教材
本宿	岡 田 宏	技術
本宿	金 子 秀次	教材
本宿	野々村 道雄	教材
付小	川 村 泉	教材



○夏休み巡回映画  
番組の紹介  
△たん子たん吉 第二話 五巻  
江戶恋馬子話

校名	委員名	部別
甲山	城 殿 晃	教材
美川	石 川 博	巡回
兩	安 杖 己	教材
竜海	野 村 晃	技術
突	鈴 野 祐男	調査
福岡	宇 野 正治	教材
東海	小 島 十士夫	教材
常盤	河 野 光勝	技術
河合	宇 野 光	調査
香山	青 山 孝	教材
岩津	犬 塚 恒夫	技術
天作	太 田 兼松	教材
付中	伊 吹 稔	教材

△たん子たん吉はお姫さまの危険を無事すくじましたが、姫の部屋の大争茶壺が無くまりました。若殿様藤四郎は挽回しとなって茶壺を戻します。二匹の猿はもちろん、たん子たん吉の化身、茶壺をうまく取りかえず争ができるでしょうか。  
△カッパ川太郎(まんが)二巻

川太郎が、カッパの国をおそつた大ききんを救う話。  
△とうだい(ケラフ)一巻  
とうだいの設備や機能をわかりやすく説明したものの。  
△風雪との斗い(記録映画)二巻  
一年の大半を雪と氷に閉ざされている北海道の輸送はどのようにして守られているか。  
△ことモクラフ 一巻  
日程表は別表  
○映画版フィルムの特出しについて  
夏休み中の学習及び教材の研究に必要なフィルム及び映写機はいつでもお貸しいたします。御連絡下さい。  
フィルム借用書は御迷惑ですが、合研よりの希望もござりますので、必ず御記入の上御送り下さい。  
・フィルムの申し込みはなるべく早くお願い致します。  
**おしらせ**  
視聴覚月報第四号を皆様にお送り致します。最近の活発な視聴覚の動きは、二期に入ってから益々盛んになる事と思えます。昨年度の活動より、更に本年度の活動が、より盛んになりますよう、又その道しるべとして、月報が利用されましたら真に幸いです。

# 予算・決算

昭和30年度協会決算表

昭和31年度協会予算

収入の部		収入の部
項目	金額	金額
前年度繰越金	190,000	35,227
市補助金	165,000	-
会費入金	1,545,188	180,000
ガソリン	-	54,000
計	1,900,188	1,889,227

支出の部		支出の部
項目	金額	金額
フィルム購入費	83,000.00	1,314,000
巡回映画借用	102,355	90,000
トヨペット購入	310,000	-
月報印刷費	-	35,000
専任者手当	60,580	94,000
備用品購入	327,470	68,000
消耗品	33,440	35,000
研修費	46,120	50,000
ソリソリ	383,74	50,000
教材製作	53,080	104,000
雑材	18,670	20,000
雑予備	39,280	15,000
雑	5,592	10,000
計	1,864,961	1,889,227
来年度へ繰越金	35,227	

昭和三十一年度

## 会務報告

四 巡回映画(以後毎月)の実施

毎月

四二五 理事会予算決算規約改正

四二六 教材フィルム購入試写会(南)

中心第一期

五二 補助金の陳上

六三 映写機操作技術者講習会

七二〇 映画教育資料作成

七二一 理事会 更生予算

七二五 ライフラーを美中に移す

七二〇 北辰大型映写機一台購入

七二四 トヨペットトラック一台購入

七二四 補助金申請書の提出

八四 視覚教育暑期講習会参加五名

一〇二一 教材フィルム購入試写会

一〇二二 (福小) 第二期

一〇二二八 映写機操作技術者講習会

## 昭和三十一年度

### 事業計画

一方針 現財教育社会科・理科部会と提携して、視聴覚教材を学習指導に活用する。

二目標

1. 視聴覚教材を活用し学習指導の深化に努める
2. 映写施設の充実に努める
3. 視聴覚教育研究会に参加し研究する
4. 視聴覚教材の充実に努力する
5. 協会ライフラー講習の合理化を

はかる

三事業

四月 理事会 第一期フィルム試写会

五月 講演

六月 映写機操作研究会

七月 第二期フィルム試写会

合同研究中間発表

各校映写機巡回修理

映写技術研究会

教材映画資料作成

八月 スライド作成

九月 合同研究発表会

十月 第三期フィルム試写会

十一月 理事会

十二月

三月

二二四 合同第一回準備会(遠尺小)

二二五 合同研究会(視聴覚・社会科)

本宿小

二二六 研究会 六名小

二二二 合同研究会(視聴覚・理科)

岩中

二二八 合同計画案の検討(宇大クラ)

フ)

三二九 国立教育研究所 合同計画案の指導を受ける。

# 在庫フィルム一覽表

— 昭和三十一年六月現在 —

小学校理科		小学校社会科		中学校理科		中学校社会科	
番号	フィルム名	番号	フィルム名	番号	フィルム名	番号	フィルム名
A 5	水の循環	B 3	私たちの学校	C 5	ラジオの話	C 8	機械化は進む
A 7	動物の成長	B 4	都市と水道	C 10	蝨虫	B 17	たんぼの水
A 13	海辺の動物	B 6	手工業	B 1	凸レンズ	B 15	日本のデニマーク農場
A 2	手	B 2	流れ作業	A 6	耳	B 9	開発を待つ地点
A 12	朝千狩	C 4	鉄道電化	A 1	真空の世界	B 19	生活と塩
A 16	野山の小鳥	B 16	坊やの世界一週	A 4	月	C 9	開発を待つ地点
A 17	あぶらせみの一生	B 5	発電所	A 11	原生動物	B 11	首都東京
C 1	あけぼのよう	B 11	工業とその資源	A 18	血液のじゆんかん	C 13	通貨
A 14	かとおうふら	B 14	けいさつの仕事	A 4	月	C 11	首都東京
A 15	蛙とおたまじゃくし	B 18	ゆふひん	C 2	稲の一生	C 13	通貨
A 8	はえ	B 12	小売店の仕事	B 20	火山三原山	C 7	新風土記(北陸)
A 20	ふはし	B 7	高果市場	B 13	生きているパン	C 12	月の輪古墳
A 19	せんだくの科学	B 9	火事をなくする仕組	A 10	肩と腕のはたらき	C 15	筑後平野
A 22	葉のはたらき	B 8	魚のとれるまで	A 3	動く地球	C 12	月の輪古墳
A 23	冬を越す動物	B 10	電信のはたらき	B 22	木の着物石の着物	C 15	筑後平野
A 26	池や小川の動物	C 3	炭坑の人々	B 23	蜜蜂	C 16	北陸の野づら
A 33	海底の動物	A 21	漁村のくらし	A 24	刃物のはたらき	B 21	水害対策
B 31	ビタミンの知識	B 17	新聞のはたらき	A 25	稲と稲疰	C 18	石器時代の村
A 28	根のはたらき	B 24	裁判のはたらき	A 31	音波と音源	B 17	たんぼの水
A 29	採光と通風	B 25	産業と電力	A 27	植物の一生	C 17	段々畑の人々
B 31	スタンツ	B 27	海上輸送	A 32	ウニの発生	B 29	黒潮の洗う地方
B 36	低鉄棒	B 30	道路のはたらき	A 9	ガラス	B 26	利根川
B 37	交響楽団	A 30	児童会	C 6	セメント	B 26	利根川

学年